

【小学校,中学校,中等教育学校の前期課程,若しくは特別支援学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	三原市立本郷中学校校舎	三原市本郷町下北方二丁目27番1号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is=0.743 Is/Is0=1.01 CT・SD=0.483	耐震改修済み	-	ISO=0.7(発注者の指定による。) Rt=1.0
2	広島大学附属三原小学校	三原市館町二丁目6番1号	小学校					
	小学校校舎部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is=0.72 Is/Is0=1.02 CTU・SD=0.658	耐震改修済み	-	Is0=0.7(発注者の指定による。) Rt=1.0
	小学校体育館部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is=1.01 Is/Is0=1.44 CTU・SD=0.41	-	-	ISO=0.7(発注者の指定による。) Rt=1.0

附表 耐震診断の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(抜粋)

別表2

耐震診断の方法		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		I (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。)	II (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。)	III (地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。)
(5-2)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	$I_s / I_{s0} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s / I_{s0}$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$
				$1.25 < C_T \cdot S_D$
(5-3)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s / I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s / I_{s0}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$

※別表1, 2の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については震度6から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずる恐れは少なく、倒壊する恐れはない。

※別表2に掲げる耐震診断方法のうち(4-1)から(5-6), (11), (12)の方法における安全性の区分については、補正係数(表中のU及び $I_{s0}$ を算出する際に用いるU)を1.0とした場合を示している。

※※特記なき限り、地域係数 $Z=0.9$ , 補正係数 $G=1.0$ ,  $U=1.0$ として耐震診断されています。